

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社シビルデザインワークス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		・経営理念を当社ホームページにて公表し、従業員に対しても定期的な会議にて周知徹底、共有を行っている。									8	9								17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守、道徳心についての考え方を社内会議、会合において従業員に周知することにより徹底を図っている。																	16				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・見積書や契約書等の書類は、必ず社長が最終チェックを行い不正行為が発生しない体制を構築している。											10						16				
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社会、環境に及ぼす影響を踏まえた設計を行っており、定期的な取締役会でも議題にした上で、自社活動の及ぼす正と負の影響を把握している。																	16				
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・自社開発の特殊技術、データ等については外部漏洩が無いように就業規則等で明記している。									8.2	8.3	9										
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・業務受託の際には守秘義務条項を設け、個人情報保護に向けた体制を構築する他、データ管理を厳格にすることにより適切に管理を行っている。																	16				
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・公共設計、開発行為等、周辺住民、行政他ステークホルダーとの対話を適切に行った上で、ステークホルダーの利害、ニーズを十分に把握した上で業務を遂行している。																	16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及び生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・生物多様性、生態系に配慮した技術面の情報収集等を常に行い、事業パートナーとの情報交換、連携を行っている。					5				8		10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・【予定】2023年10月迄にBCPを策定し、重要データのクラウド管理、災害対応訓練等を実施する。												9		11		13.1		16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9								17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2					5		8			12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内にて差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則にハラスメント禁止の項目が明記されており、役員を含めた全社員にも徹底を行っている。				4.3	5.1				8.5									16.1			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・毎朝のミーティングにて体調管理、備品管理、事故防止の為の打ち合わせを常に行っている。 ・安全講習会の受講を義務づけている。			3						8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・公正な待遇を基本理念として就業規則を設けており、従業員に対してもその旨を周知している。						5.5			8.5								10.2	10.3			
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・原則として残業ゼロの勤務体制を推奨しており、ワークライフバランスを意識した取組を行っている。従業員の意向を十分聞き、休暇が取得しやすい職場環境を構築している。			3			5.5			8.5									10.3			
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得の際の報奨金制度、資格手当支給、資格取得費用の補助制度等、CPDの受講等、能力開発の機会を積極的に従業員に提供し、人材育成に取り組んでいる。				4	5.5				8		9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・健康診断の補助等により健康経営に取り組んでいる。 ・熱中症対策の備品を会社負担で購入し、適宜、従業員に支給している。			3						8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・外国人技能実習生の受入等によるダイバーシティ経営を積極的に推進している。				4.4	5.1	5.5			8.5										16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議を導入している。	●		・WEB会議の開催、オフィス環境の分散等を行う事により、新しい生活様式への対応を行っている。			3						8	9.1			11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・行政機関への電子申請を積極的に活用する他、グループウェアの積極活用によりDXを適切に推進している。										8	9.1			11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4					8	9						12				

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社シビルデザインワークス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・材料、施工、廃棄の各段階で想定される産業廃棄物や有害化学物質を考慮し、設計を行っている。 ・事務所で発生するごみは、環境に配慮し適切に分別している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		【予定】2023年10月迄に、簡易計算シートを使って自社のエネルギー使用量を把握。目標を設定し、削減に取り組む。 ・事務所内の照明は全てLED照明を使用し、節電に取り組んでいる。							7.3							13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		【予定】2023年10月迄に、簡易計算シートを使って自社のCO ₂ 排出量を把握し、削減に取り組む。 ・アイドリングストップを推奨し、取り組んでいる。			2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・河川工事の設計にあたり環境に配慮された資材の使用や緑地の整備を提案する等、生態系保全に取り組んでいる。 ・事務所で排出されるプラスチックごみは適切に分別しリサイクル回収に持ち込むことで、海洋の生態系保全に貢献している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化を推進し、事務所では裏紙を利用することで効率的な紙資源の利用に取り組んでいる。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・排水管、下水管の工事設計を行うことで、水資源の質の保全に貢献している。 ・設計段階において浸透ますの設置を提案し、地下水保全に取り組んでいる。 ・事務所では節水を心がけるよう従業員へ声かけを行うことで、熊本の水資源の保全に貢献している。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・社内の備品は、エコマークや環境認証付きのコピー用紙や文具等、環境に配慮された製品を優先して購入している。											9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●								6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●														11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●		・事務所内の照明は全てLED照明を使用し、節電に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●		・事務所で排出されるプラスチックごみは回収BOXを用いて適切に分別し、リサイクル回収に持ち込んでいる。													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●												9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社シビルデザインワークス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・照査報告書のチェック項目に基づき、着手時・中間時・最終時の最低3回社内チェックを行うことで、品質を確保する仕組みを構築している。			3.9						9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・スロープ設置や段差の少ない設計を推奨し、障がいや年齢に関わらず誰もが同じように生活できる環境を整備している。 ・会社HPには、イラストや記号、大きなフォントを使用する等、誰もがわかりやすいデザインを取り入れている。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●							7						12.2	13.1			15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・住みやすい宅地開発を行うと共に、環境に配慮した設計・提案を行うことで、持続可能な街づくりに取り組んでいる。 ・宅地開発設計で地下浸透型の雨水流出抑制施設を採用した場合の地下水汚染対策として、有害物質を含む初期降水を処理する「ブリッジ水路付集水溝」を設置する等、環境対策に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15				17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域の草刈りボランティアや、これまで設計に携わった宅地の清掃作業などに積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		【予定】2023年10月までにハザードマップを踏まえた避難行動計画を策定し、全従業員を対象とした訓練を実施する。				4							11.5		13.1			16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・金融機関と連携してSDGsと事業活動の繋がりを認識・分析し、優先課題を特定して目標達成に向けた行動計画を策定している。 【予定】2022年12月より、従業員に対しSDGs優先課題・行動計画を共有し、全社一丸となってSDGs推進に取り組む。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2									17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6											17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。